

# 三田さくら物語

## ～思い出を未来につなぐ～

さくらさくさんだ。里山で、武庫川堤で、家の庭で。自然の風土と日々の暮らしの中で、長い歴史の中で、人とまちの織りなす物語が花の下で語り継がれてきました。このまちで紡がれてきた物語と人の輪。今、住み続けたいまち三田、持続可能なまちのシンボルとして三田のさくらを守り、楽しみ、育み、過去から未来へ、思いをつなぎます。

### ～連綿と続くさくらとまちの記憶～

[桑原<sup>きんしょうじ</sup>欣勝寺最明寺桜] 鎌倉時代の名執権 最明寺殿、北条時頼ゆかりの花の名所  
[三田城大手筋、桜の馬場] 統治200有余年、九鬼家三田藩の栄光と城下町の活気の象徴  
[藍本<sup>くろもと</sup>虚空蔵山麓西山桜] 「北は日出坂 さくらが丘よ 花のトンネル 国ざかい」  
摂丹国境 阪鶴線汽車の旅 峠を行きかう人々が歌い疲れを癒した花の眺め  
[旧制三田中学校の桜陵と並木道] 九鬼隆一や小寺泰次郎・謙吉父子が若者に託した夢  
[三輪上野ヶ原、三田天神公園、高平街道、大坂峠修道] さくらは地域のメモリアル

### ～花は盛り、四季折々の記憶とともに～

[武庫川桜つつみ回廊] まちを南北に貫く約4千本 25kmの花の長城は市民の誇り。兵庫県が日本海と瀬戸内海を桜で結んだ「ふるさと桜つつみ回廊」は、30年の歳月をかけて、わたしたちのまち三田の春の風物詩になりました。

あなたの心に残る三田のさくらの風景はどこですか。出会いと旅立ちの春は満開。夏は木陰。秋は紅葉。一見枯れたような枝に花芽を蓄える冬。春だけでなく、四季折々のさくらは、人々の記憶とともに心に刻まれた大切なふるさとの原風景です。

### ～未来に伝えるために～

今が盛りの武庫川桜つつみ回廊、河畔のソメイヨシノの「健康寿命」は約60年。このまま時間が過ぎれば、やがてこの風景は失われます。里山を彩るヤマザクラも、人々の日々の暮らしがあってこそ咲き続ける地域の宝で、徐々にその本数を減らしつつあります。

「三田さくら物語」はふるさと三田ならではの風景に想いを寄せる人々が集まり、ともに、今ある地域資産を守り、新たに三田の里山に自生するヤマザクラの種子から苗を育てて、このふるさとの景観を次世代に伝えていく取り組みです。

さくらさくさんだ。

ふるさとの思い出とともに、育まれ・伝えられてきたものを、未来の子どもたちに育み・伝えるため、あなたも「三田さくら物語」に参加しませんか。